

# 株主通信

2024年3月期 **中間期**

2023年4月1日から2023年9月30日まで

FELIZ 115

革新

INNOVATION



第一工業製薬株式会社

証券コード:4461





## 原点に立ち返り、研究開発型企業として「FELIZ 115」計画の実現に取り組んでまいります

当社の原点である「研究努力」に立ち返り、研究開発型企業として成長するための基盤づくりに取り組み、中期経営計画『FELIZ 115』の実現をめざしてまいります。

代表取締役社長 **山路直貴**

め工費単価を下げる。「底入れ」に注力し、通期で収益改善を図ります。

### 「FELIZ 115」計画値の見直しについて

2020年4月より実行してきた「FELIZ 115」計画は、当社を取り巻く外部環境や注力分野の市況を考慮し、実態に即した計画値に見直しました。計画最終年度2025年3月期連結売上高700億円、同営業利益45億円（営業利益率6.4%）です。

2030年に向けた次期中期経営計画「SMART2030（仮）」では、連結売上高1,000億円、同営業利益100億円（営業利益率10.0%）、総資産回転率1.0回へ目標を定めています。「FELIZ 115」最終年度までに、価格転嫁ならびに収益力改善とともにライフサイエンス事業の黒

字化に目途をつけます。そして、霞工場を中心とした現有設備をフル活用し工場稼働率を最大限に高めます。注力分野の設備投資を段階的に行い、2030年3月期に目標達成をめざします。

### 研究開発体制の強化に向けて

販売数量低下に歯止めをかけ、注力分野である電子・情報、環境・エネルギー、ライフサイエンスで新たな開発を達成するには、研究開発力をさらに強化する必要があります。そのために、ヒト・モノ・カネを含めた経営資源の再配分を実施します。

また、新たに教育制度を整備し、人材育成も強化します。同時に、研究部門が営業部門や代理店の皆さまとタッグを組み、明確な目的のもと、お客さまの課題解決やニーズに即した新たな研究テーマの開拓にも取り組みます。お客さまや代理店の皆さまとのコミュニケーションを促進し、研究開発のスピード向上を図ります。人事評価の仕組みも変えていく必要があります。例え

ば、将来に向けた新規の研究開発です。新規テーマは成果が出るまでに時間を要するため、開発プロセスにおいても適切に評価がなされる仕組みが必要です。設備投資同様、研究開発の先行投資も必須です。人件費を含め、かかる費用や期間、その成果がもたらす利益などを「見える化」して共有することで、適切な人事評価につなげます。

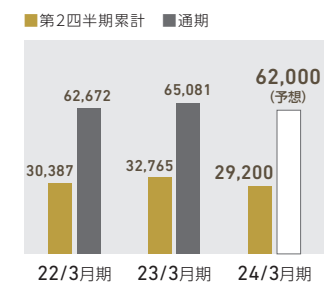
### 株主の皆さまへ

当社の上半期の決算では、下方修正を余儀なくされましたが、注力分野であるディスプレイ、半導体、自動車関連などの市況は緩やかな回復基調にあります。霞工場やグループ会社の四日市合成、台湾の晋一化工などの販売に動きが見え始めてきました。

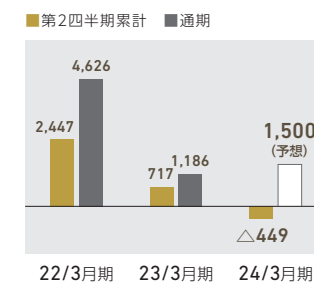
当社の原点である「研究努力」に立ち返って研究開発力の強化を図るとともに、今後の成長に不可欠な基盤づくりを着実に進めます。

株主の皆さまには、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

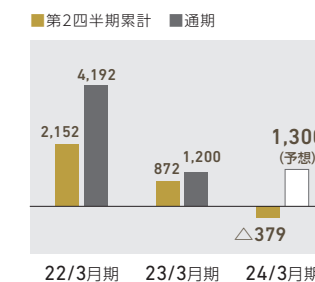
売上高 (百万円)



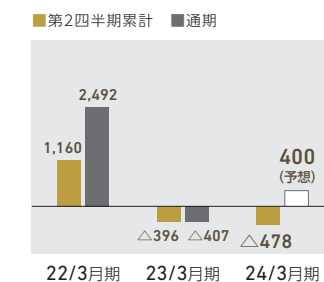
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



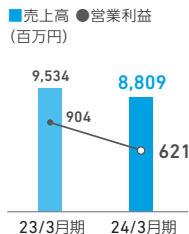
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益 (百万円)



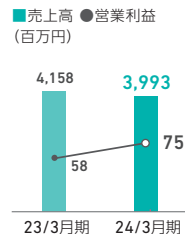
# 事業セグメントの概況(第2四半期累計)



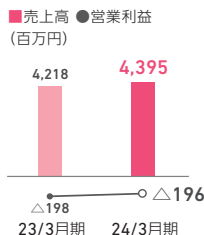
国内では、塗料・色材用途は堅調に推移しましたが、IT・電子用途、ゴム・プラスチック用途は低調に推移しました。石鹼・洗剤用途は大きく落ち込みました。海外では、ゴム・プラスチック用途、塗料・色材用途は堅調に推移しました。



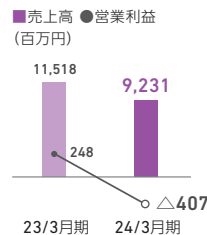
ショ糖脂肪酸エステルは食品用途が国内では堅調に、海外では低調に推移し、香粧品用途は海外では堅調に推移しました。国内ではセルロース系高分子材料はエネルギー・環境用途が低調に推移し、ビニル系高分子材料はゴム・プラスチック用途が低調に推移しました。



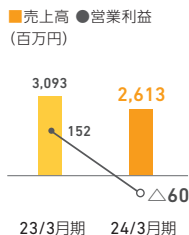
フロソ規制に関連する環境配慮型の合成潤滑油は低調に推移しましたが、公共工事に関連する土木用薬剤は大幅に伸長しました。



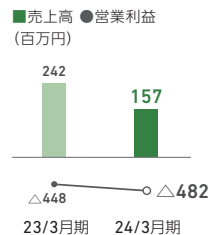
光硬化樹脂用材料のIT・電子用途は国内で大幅に伸長し、海外では大きく落ち込みました。難燃剤は国内外でゴム・プラスチック用途が大きく落ち込みました。水系ウレタンは国内で繊維用途が大きく落ち込みました。



ディスプレイ用途のイオン液体は堅調に推移したものの、太陽電池用途の導電性ペーストが大きく落ち込みました。

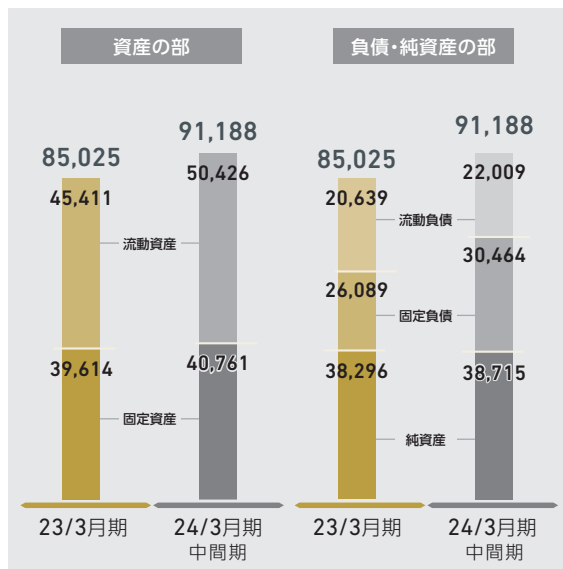


医薬品添加物や天然素材からの抽出物の濃縮化、粉末化による健康食品等の受託事業は低調に推移しました。

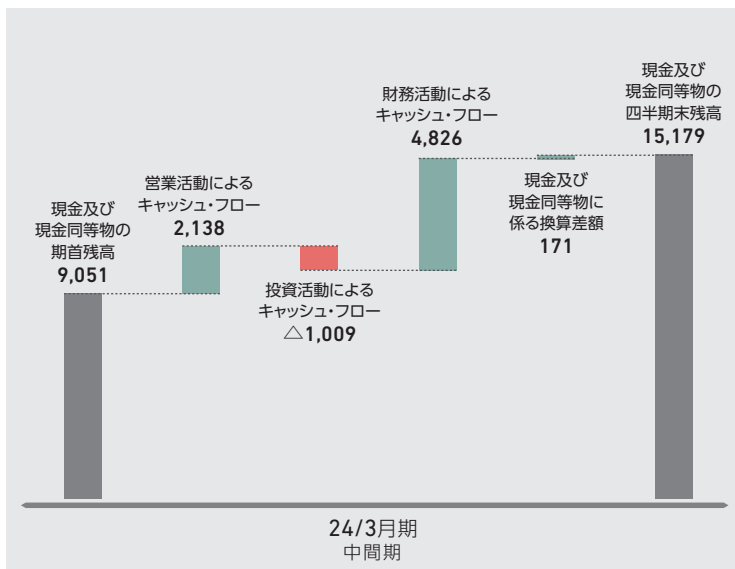


# 連結財務情報

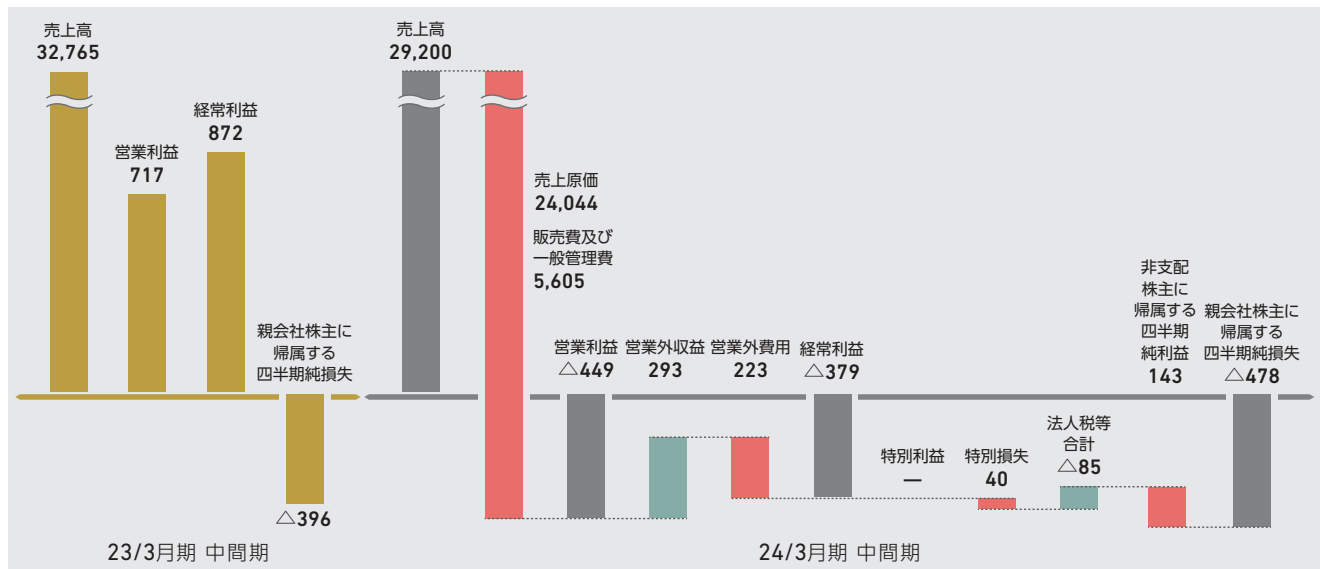
## 連結貸借対照表 (百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



## 連結損益計算書 (百万円)



## 健康経営®への取り組み

設立当初から従業員の健康管理に積極的に取り組んできた当社は、健康管理を経営につなげる取り組みにチャレンジしています。その現状を、健康管理・健康経営業務を担う中核メンバーに聞きました。

従業員の健康を維持・増進することで会社の生産性向上を、ひいては企業価値の向上を目指します。この取り組みは、担当役員の出席する会議体において結果の報告とそれに基づき策定された計画の承認を得ています。

健康経営銘柄2023  
(4年連続選定)



DBJ健康格付2022  
(6年連続最高ランク取得)



管理本部総務法務部総務グループの皆さん

小林 恵/保健師

福沢 郁子

高橋 知子

小林

入社した頃は、目的や目標の設定を含め、まだ健康づくり活動の体系化がなされていませんでした。そこで、健康課題の分析に基づき活動目標を明確にし、それに沿った取り組みに着手しました。当期から健康管理システムを導入し、従業員の健康状態を全社統一の基準で評価していきます。従業員の皆さんの健康づくり、ひいてはヘルスリテラシーの向上を実現すべく、データに基づく新たなアプローチを手掛けてまいります。

福沢

健康経営の外部評価制度に対する回答などを担当しています。従業員の健康づくりのための諸活動を企業経営につなげるため、当社では、会社設立以来構築してきた健康管理基盤を土台に健康経営戦略マップを策定しました。今後はこのマップが実際に機能しているかをデータで分析・検証する計画です。検証を通じ、従業員の皆さんに健康経営の意義を一層ご理解いただき、最終目標の実践につなげたいと考えています。

高橋

健康経営基盤がほぼ出来上がった時期に、活動に参画しました。現在は、「ウォーキングイベント」やオリジナル体操を用いた「体操キャンペーン」、健康アプリを活用した運動、食生活などのサポートをしています。体操キャンペーンと健康アプリポイントを連携させるなど、日々の取り組みに常に新しい要素を取り入れ、従業員の皆さんが自ら率先して継続していただける活動を目指しています。

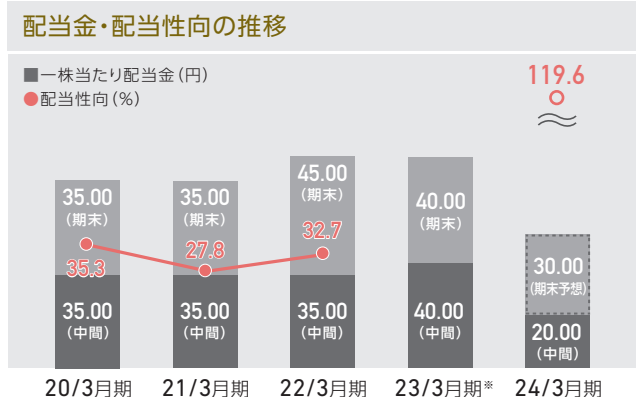
当社健康経営の詳細については、「DKSレポート2023」P.33-35をご参照ください。  
[https://www.dks-web.co.jp/rc\\_pdf/rc2023m.pdf](https://www.dks-web.co.jp/rc_pdf/rc2023m.pdf)

「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

# 会社概要・株式の状況 (2023年9月30日現在)

会社概要	
社名	第一工業製薬株式会社
創業	明治42年4月
設立	大正7年8月
資本金	88億9,520万円
従業員数	600名(連結1,119名)

取締役、監査役			
役職	氏名	役職	氏名
代表取締役 会長	坂本 隆司	代表取締役 社長	山路 直貴
専務取締役	岡本 修身	取締役	清水 伸二
取締役(社外取締役)	谷口 勉	取締役(社外取締役)	奥山 喜久夫
取締役(社外取締役)	橋本 克己	取締役(社外取締役)	中野 秀代
常勤監査役	大西 英明	常勤監査役	河村 一二
監査役(社外監査役)	高橋 利忠	監査役(社外監査役)	中 英也



(注) 株主の皆さまへの利益還元のための機会を充実させるため、2020年3月期より中間配当を実施することいたしました。

※ 親会社株主に帰属する当期純損失を計上したため、配当性向は記載しておりません。

事業所		
●本店	●名古屋支店	●四日市工場 千歳地区
●本社・研究所	●九州支店	●四日市工場 霞地区
●東京本社		●大瀧工場
●大阪支社		●滋賀工場

株主分布状況		
	株式数比率	株主数比率
金融機関	34.83%	0.27%
個人・その他	37.69%	96.15%
外国法人等	8.30%	1.47%
その他法人	6.78%	1.56%
自己名義株式	10.43%	0.01%
金融商品取引業者	1.97%	0.54%

大株主一覧		
株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	832,300	8.70
第一生命保険株式会社	613,400	6.41
株式会社みずほ銀行	427,000	4.46
株式会社京都銀行	417,000	4.36
DKS取引先持株会	371,800	3.89
朝日生命保険相互会社	339,400	3.55
第一工業製薬従業員持株会	319,856	3.34
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	288,700	3.02
京都中央信用金庫	220,000	2.30
滋賀銀行	140,000	1.46
農林中央金庫	140,000	1.46

(注) 1.当社は自己株式を1,114,306株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

TOPICS  
1

機能性表示食品

## 快脳冬虫夏草®

当社は、冬虫夏草由来成分を機能性関与成分とする初めての機能性表示食品「快脳冬虫夏草」を発売しました。カイコハナサナギタケ冬虫夏草に含まれる新規有用成分「ナトリード®」は、中高年の認知機能の一部である認知機能速度や視覚的な記憶力を維持するのに役立つことが報告されています。

TOPICS  
2

消臭・除菌スプレー

ニオキャン

## NIOCAN®

当社は、京都発のニオイをキャンセルし<sup>ニオキャン</sup>て消臭・除菌するスプレー「NIOCAN」を発売しました。清潔で居心地の良い空間を演出し、9つの天然精油の香りが、リラックスや安らぎの瞬間を引き立てます。アルコールフリーのため、家族やペットがいる場所でも安心してご使用いただけます。



※「快脳冬虫夏草」、「NIOCAN」の商品およびロゴは、全て第一工業製薬株式会社の登録商標です。

公式オンラインストアよりご購入いただけます。

<https://dkslife.jp/merchandises>



## 株主メモ

**創業年月** 明治42年4月(1909年4月)  
**事業年度** 4月1日から3月31日まで  
**定時株主総会** 毎年6月下旬  
**配当** 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
 中間配当金受領株主確定日 9月30日  
**単元株式数** 100株  
**発行済株式総数** 10,684,321株(2023年9月30日現在)  
**お取扱窓口** 証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主さまの各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。  
 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別

口座の場合)、みずほ信託銀行(株)にてお取次いたします。

## お問合せ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4

みずほ信託銀行(株) 証券代行部

ホームページ <https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>

フリーダイヤル 0120-288-324

(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324

(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

未払配当金の  
お支払

上記みずほ信託銀行(株)までお問合わせください。

## 上場取引所

東京証券取引所(証券コード4461)

## 第一工業製薬株式会社

〒601-8391 京都市南区吉祥院大河原町5  
 TEL 075-323-5911 FAX 075-326-7356  
<https://www.dks-web.co.jp>

DKSレポート  
 (統合報告書)  
 はこちらから



UD  
 FONT

